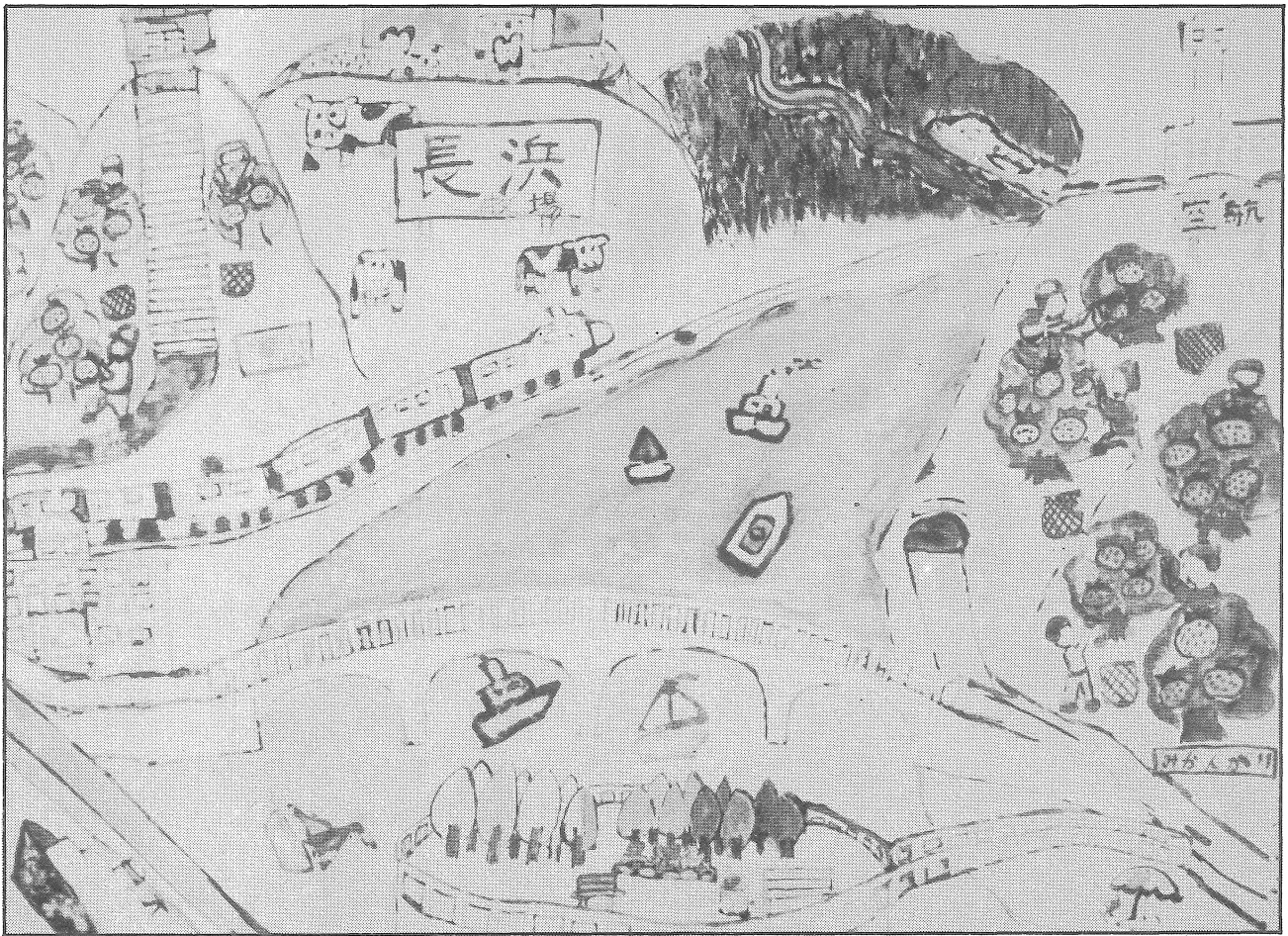



広報 **ながはま** 5月号



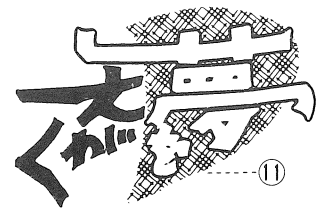

 いいなあ。
 ぼくの夢が実現し
 たら、みんな大よろ
 こびするだろうなあ。
 きるよう少しでも役に立つ人間
 になりたいと思います。

未来の長浜

出海 畑中秀之 (11歳)

新長浜大橋か
 らながめられる
 楽しい遊園地と
 牧場、みかんが
 りのできるみか
 ん山、こんな長
 浜町になったら

春は桜、秋はもみじ、緑の山
 なみの続く長浜町。
 空気のきれいな広々とした伊
 予灘をながめな
 がら、飛行機が
 発着し、新幹線
 の走る長浜町。



こんな町になったらなあ…ノ
 より豊かさを求めて、あすへの
 夢を育てよう。
 表紙は、あなたにも夢を求めます。

地方の時代へ対応

総合振興事業の積極的な推進

昭和五十五年長浜町議会第一回定例会が三月十四日から二十一日までの八日間の会期で開かれ、八〇年代初年度の当初予算が可決されて、五十五年度の長浜町行政の計画ができあがったほか、条例改正案なども原案どおり可決、陳情書など五件の報告案件が受理採択されました。また、議案審議を前

に町長が施政方針演説。一般質問では五人が十六件の質問を行いました。
町長の施政方針、可決されたこと、一般質問の模様のあるまじをご紹介しますので、五十五年度の長浜町行政のあり方などを判断下さい。

重点施策

私共の周囲の情勢は混迷の中にあり、八〇年代の将来を展望するとき苦難にみちた時代になると思われるが、事態を直視し、何を抑え、何を進めるべきかを見極め住民の皆さんの合意のもとに着実にしかも勇気ある行動をとり、次の施策を行ってその効率を高めてゆきたい。

総合振興事業の積極的な推進

昭和四十七年に議決された長期振興計画基本構想が近年の著しい経済の変化と社会情勢の推移により、一部見直しをしなくてはならなくなり、県の指導を受けながら第三次全国総合開発計画並びに愛媛県長期総合計画をよりどころとして、長浜町の振興発展と開発の方向を定めた振興事業を策定したものである。

この総合振興事業は、今日まで西田代議士の格別の指導援助によつて、県との合議を続けながら着々と計画が進んでいる。

本事業の内容は、新港湾建設、流通備蓄基地建設、工業開発の三重点にしばられ、これは本町百年の大計ともいふべき大プロジェクトであり、住民の皆さんの理解とご協力を賜りたい。第六次港湾整備

五十五年度施政方針要旨

はじめに

町長就任以来、住民の皆さんの深い理解とご協力により昭和五十四年度の予算も円滑にしかも適正確実に執行することができ感謝にたえない。先に住民の皆さんに

町政運営の根本理念として掲げた①町政の原理原則にのっとり秩序ある町政の推進②地域の活発な経済活動のための積極的な政治③町民世論を反映した公正な政治の三点を堅持し、全力を傾けて町政推進をはかる決意でもって当面の施策を行うこととした。

国内情勢の展望

この八〇年代は、地方自治の新しい段階をめざすいわゆる「地方の時代」を具体的に進めてゆく時代を

迎え、地方自治体の役割も飛躍的に上昇し地方自治の及ぶ範囲は、住民生活のあらゆる分野にわたる役割はますます重要となつてきている。そこで「地方の時代」と叫ばれる背景を挙げると①高度成長から社会の安定、生活のゆと



施政方針を述べる二宮町長

体となり、地方団体が行政の責任をもち、自らの責任において住民の皆さんの要望にこたえ、自らのイニシアティブを最大限に発揮する時代でなければならぬ。

「地方の時代」

といわれる社会を実現するには、町政に対する住民の皆さんの信頼が高まること欠かせない条件である。財政が健全であることが政治の鉄則であり、地方の時代に対応するために以上のことを肝に命じて行政を推進してゆきたい。

「地方の時代」とは、地方が主

計画については、五十五年度予算にも計上され前向きに進められており、流通備蓄基地建設については、国の方針なり本町の地理的条件から判断してエネルギー関係の立地となり、これがきっかけとなつて関連企業の誘致も可能となる。

地域定住事業の整備促進

日常生活に最も密着した道路、上下水道、ごみ処理施設や交通安全、防災対策などを整備し、郷土の豊かな自然を守り、快適で安全な生活環境と地域社会の安定を図り魅力ある地域づくりを進めてゆく。また、長浜町のビジョンづくりである都市計画については国・県の指導を受けながら建設課に都市計画係を新設し策定する。

保健と福祉の充実向上

地方自治法の本旨であり原理原則であるこの施策は、歴代の先輩町長からの遺産を引き継いで健康で明るい町づくりに取り組んで参りたい。

保健対策については、健康づくり推進協議会を軸に運動を展開し、豊茂地区から要望の強かった診療所医師の常駐による診療は四月か



肱川河口

ら開始されます。

肱川汚染防止対策については、協議会が結成され、関心をもたれている排水処理等についても調査を強化し対処する。

社会福祉の面では、家庭の問題、地域社会の問題など物の豊かさと共に心の豊かさが伴うよう社会福

祉の推進を図ってゆきたい。

教育文化施設の整備と振興

いつの時代でも言えることであるが、すぐれた創造性と豊かな情

意識調査等による直接行政への住民参加

直接行政への住民参加と英知の結集を目的に民意を反映した行政の運営に資するため、住民の行政に対する対話あるいは意識調査を実施する。



地場産業の育成振興

農林漁業、商工業などの産業振興の施策は、あくまでも基盤整備事業の推進であり、その大部分は第二次林業構造改善事業、漁港建設、作業林道、魚礁設置等の振興事業で占めている。農業については、水田再編対策、ミカンの年内出荷体制の確立、品種更新等に重点をおき、経営基盤の確立を図ってゆきたい。林業については、松喰虫被害跡地対策としていたけ原木資源拡大のための植栽推進。水産業については、魚礁設置による魚族の繁殖、稚魚稚貝などの飼育放流を。商工業については、商工会組織の充実を図り、商店街の環境整備、中小企業の経済活動を強力に推進してゆきたい。

むすび

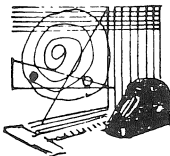
以上施策方針の要旨を述べたが、本年は振興事業計画にゆだねておる各種公共施設のぼう大な建設を達成しなくてはならないため、できうる限り経費の節減を配慮した事務執行態勢を確立することに努め、事務処理の一部再編成を行い民間委託等を検討してゆきたい。

議会・予算の使いみち今年度の特徴

全般的な特徴

きびしい財政事情のもとで、国におけるエネルギー対策をはじめとする現下の経済情勢、社会情勢に対応した編成にするため、とくに昨年からの継続事業である長浜小学校改築工

基本計画委託料など



のことに使うお金

3億562万円(9.8%)

総務費

一般管理・文書 広報・有線放送電 話・財産管理・企 画・事務連絡・生 活行政推 進・徴税

事が最終年であるので、極めて一般財源を必要とし、経常的経費の極力節減につとめています。

一般会計

振興計画基本構想の策定に基づき、基本計画および実施計画の委託料百万円、都市計画(緑のマスタープラン作成)の委託料五百九十三万円を計上。

参議院議員選挙、漁業海区調整委員選挙の年度になっているためその必要経費合わせて五百二十六万五千円を計上。 五年ごとに行われる国勢調査と農林業センサス事後調査などを実施することになっているため、四三・四多多く計上しています。 二年に一回行っている区長の研修旅行の年度となっており、その旅費として三百四万円を計上。 集会所建設にはとりあえず一か所分計上。 下平テレビ放送共同受信施設補助金として二十八万八千円を計上。 町税徴収事務交付金は七・五%多い五一四万六千円を計上。 総額で五〇%多くなっています。

予算の使いみち今年度の特徴

新しい事業や、とくに力をそそぐ事業、前年度当初予算に比べて大きく変化の生じたもの、予算金額は小さくても精神的な面で充実を図ることになっているものなどを「特徴」とし、まとめてみました。(文中の%は、前年度当初予算との比較)(目的別費目総額のカッコ内の%は一般会計予算総額に占める目的別費目総額の割合)

一般31億円台に

昭和55年度

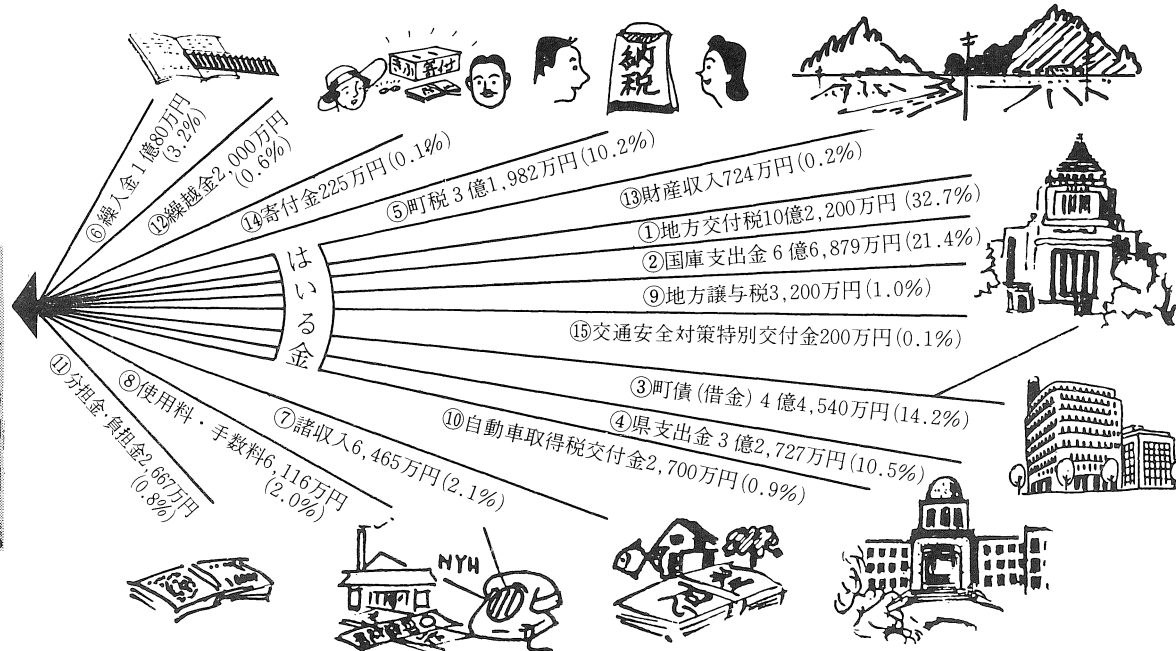
当初予算決まる

昭和55年度の当初予算が次の通り決まりました。(%)は前年度当初予算との比較)

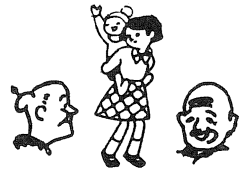
- 一般会計=31億2,705万5千円(20.0%増)
●国民健康保険特別会計=6億4,387万5千円(3.6%増)
●国民健康保険直営診療所特別会計=561万3千円(24.4%増)
●港湾施設特別会計=1,399万2千円(4.6%増)
●水道事業会計=収益的収入予定額5,320万8千円。収益的支出予定額5,115万3千円。資本的収入予定額なし。資本的支出予定額649万5千円。
●工業用水道事業会計=収益的収入予定額2,007万8千円。収益的支出予定額1,807万9千円。資本的収入予定額なし。資本的支出予定額639万2千円。
●簡易水道事業特別会計=3,641万2千円(27.1%減)
●住宅新築資金等貸付事業特別会計=2,928万1千円。(31.3%減)

一般会計の歳入歳出

4捨5入)字は金額の順位)占める割合)



議会・予算の使いみち今年度の特徴



民生費

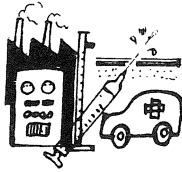
老人福祉・児童福祉・母子福祉・国民年金・生活保護・救済などにお金を使うこと

7億8,328万8千円 (25.0%)

敬老会の報償費を増額

老人医療費は昨年とほぼ同額で一億一千四百万円を当てています。七十歳以上の方が手術を受けるときの補助金を一回につき五割多い三百円にすることに約百五十万円。

敬老会の報償費は、一公民館当たり五千円増額して三万五千円に改め、また、一人当りの補助金を二百円増額し、それぞれ必要額を計上しています。



衛生費

保健衛生全般・公害防止・汚物処理などにお金を使うこと

1億7,872万円 (5.7%)

ごみ焼却場の修繕費など

ごみ焼却場の炉修繕費として、三五・一%増の七百三万五千円を計上し、効率的な処理を図ることにしています。

大洲・喜多衛生事務組合へのし尿処理負担金は、人件費などの上昇により一五・七%増の一千五百七十七万二千円を計上しています。町内一斉大掃除用防疫剤の助成金として百二十六万六千円計上しています。

豊茂診療所へ四月から常駐の医師が赴任されました。総額では一〇・八%多くなっています。



農林水産業費

農業・林業・漁業関係などにお金を使うこと

4億7,692万円 (15.3%)

林業研修センターの新設

国土調査も三年目を迎え出海地区の残り百四十五平方キロ、豊茂地区の百八十七平方キロ計を予定、必要経費として二千七百三十一万二千円を計上。

農地費関係の補助では、団体営農道新設継続事業として、出海線の用地買収、立木補償を予定しており、その補助として四百五十万四千円を。農道舗装補助は、萩坂

線(戒川、常水大峯線(櫛生、浄水池線(黒田、祝谷線(下須戒、板屋線(豊茂)、中ウネ線(須沢、カギウラ線(今坊、峯大越線(柴)の八線分に四百六十六万円を計上。

農業振興関係では、特に水田利用再編成対策に関連した落葉果樹振興事業費に百二十二万五千円を。また、特用作物産地育成対策育成事業に前年より二五%多い二十五万円を計上。

畜産振興事業では、乳質改善と優良乳牛の育成を目的とした乳牛共進会の補助として二十万円を計上。

林業振興関係の補助では、昨年度に続き、松くい虫による被害跡地対策として、国、県の造林補助金に町の補助を上乗せして、早期植林によって森林の保全を図るため二百二十三万円を、また、しいたけ生産者養苗事業に五十二万円を計上。

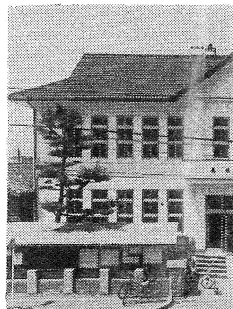
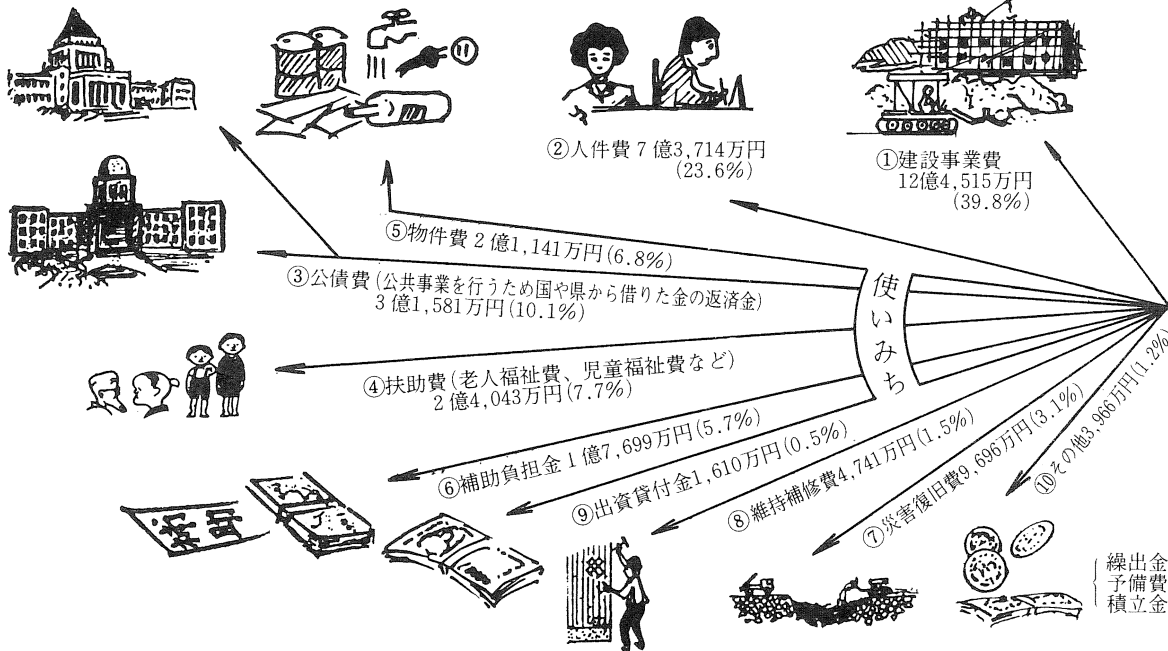
水産関係の補助では、魚礁の清掃と効果調査費五十万円、近年減少傾向にある浅海動植物等の増殖を図るため、稚魚の放流に七十五万円。魚礁設置は前年とほぼ同額です。

第二次林業構造改善追加事業が五十五年度から二か年で実施されることになりました。本年度は、物瀬に林業研修センターが建設され、一階は椎茸の品質向上、製品流通の改善を図るための作業用建物。二階は、地域林業が健全に発展するように、学習と技術研修の場として六千四百三十万円を計上。

性質別に見

31億2,706万円

(金額は千円単位
①②など円内数
%は予算総額に)



出費金
繰り積立

議会・予算の使いみち今年度の特徴



商工費
 ・商業
 ・工業
 ・観光
 ・関係
 にお
 使う
 のこ
 と金
 2,284万3千円 (0.7%)

白滝公園の防護柵設置

商工振興を図るうえにおいて、商店のPRをかね、看板ベンチなどの新設を進めてきたが、商工会の内容充実を図るため、育成補助の引き上げを行い、さらに中小企業振興のため、資金の貸し付けの限度額の引き上げを行った。観光費については、白滝公園の防護柵の設置と、遊歩道の整備を図るほか、海水浴場の便所などを新設することになっています。総額では一二・三%少なくなっています。



議会費
 町議
 会運
 営の
 ため
 のに
 使う
 お金
 のこ
 と
 4,948万9千円
 (1.6%)



労働費
 労働
 条の
 改善
 などの
 ために
 使う
 お金
 のこ
 と
 10万円
 (0.0%)

前年と同額です。

総額で二・八%少なくなっています。



土木費
 道路・
 河川・港
 湾・下水
 道・交通
 安全施設
 などに
 使う
 お金
 のこ
 と
 2億4,132万3千円 (7.7%)

生活環境整備を重点に

生活に密着した道路、下水の整備に重点を置いたものとなっています。継続して整備を行っている旧町内の道路の全面的舗装打替、舗装道路の補修、道路標識の設置など維持管理による道路の保全を図ることになっています。下水道では衛生的な生活環境の確保を図るため、管渠の清掃、改良など排水機能の維持の徹底と今年度出海地区に下水道を新設することになっています。



公債費
 借金の
 返済
 金の
 こと
 3億1,597万2千円
 (10.1%)

総額で一五・六%多くなっています。



予備費
 あら
 かじ
 め定
 ま
 につ
 いて
 目的
 以外
 に使
 うお
 金の
 こと
 976万3千円
 (0.3%)

総額で一〇・六・四%多くなっています。



消防費
 防火防
 災のた
 めに
 使う
 お金
 のこ
 と
 7,673万2千円
 (2.5%)

ことにしています。交通安全対策には、今年度もガードレールやカーブミラーなど整備することになっています。総額では経費の節減をしたので一四%少なくなっています。

ポンプ積載車を購入

施設設備の充実を重点としており、四十立方以上級の防火水そうを一基、二十立方以上級防火水そうを三基、ポンプ蔵置所一か所を設置することになっています。小型動力ポンプ積載車一台を購入することになっています。総額で前年度とほぼ同額。



教育費
 学校教
 育・社会
 教育の
 全般に
 使う
 お金
 で水
 族館・公
 民館・保
 健体育・
 校舎建設
 などの
 費用も
 含ま
 れま
 す
 5億6,932万2千円 (18.2%)

長小校舎の完成

五十四年度から継続事業として建設中の長浜小学校の校舎は十月末に完成する予定ですが、この建



災害復旧費
 災害を
 受けた
 か所を
 復旧す
 るた
 めに
 使う
 お金
 のこ
 と
 9,696万1千円
 (3.1%)

設費三億一千四百八十八万五千円、同校の用地購入費四千二百八十八万円と、榎生小学校のプール建設費として三千二百五十五万四千円。教育施設の新設関係で三億八千六百八十三万九千円で教育費総額の六七・九%を占めています。総額では三七・八%多くなっています。

昨年の災害復旧に全力

昭和五十四年六月の梅雨前線豪雨にはじまり、台風十二号、十六号、二十号と四回にわたる豪雨により各施設に莫大な被害を被り、昨年も復旧に鋭意努力しましたが、今年は残か所全部の復旧を旨とし、農林省所管分日野農地ほか六か所と黒田農道ほか四十か所、また、建設省所管分豆柳・大戸線ほか五十九か所の復旧をすることになっています。総額では災害が多く今年に持ち越したので前年に比べ約九・五倍になっています。

特別会計

特徴の大きい会計だけ紹介。他は頭書の通り。

国民健康保険

6億4,387万5千円



今年度は医療費の改訂がないものと見込み、また、老人医療費も限度にきているものと考え、国保で負担する七割分の療養給付費を四%少ない五億三千五百八十一万一千円計上。新たに、予防医療、特に健康優良家庭の表彰などを主体に趣旨の普及を図りたい。総額では三・六%少なくなっています。

簡易水道

3,641万2千円



日ノ浦(今坊)と朝日(豊茂)の簡易水道施設を改良することになっています。総額では二七%少なくなっています。

水道事業

(頭書の通り)



財源となる使用料については、改正せず、ろう水の防止と不感水量の解消、有収率の向上をはかるとともに、経費の節減を図っていくことにしています。

低所得世帯は軽減 国保税

低所得世帯の国民健康保険税は毎年、課税の際、平均割と均等割については減額処置を講じていますが、五十五年度分は次の通り軽減することになりました。

年間所得が「二十二万円」以下の世帯の場合

◎被保険者均等割額 被保険者一人について五千四百円軽減していたものを六千円軽減に。

◎世帯別平等割額 一世帯について九千円軽減していたものを九千六百円軽減に。

年間所得が「二十二万円」に「被保険者一人につき十六万五千円」を加えた範囲内所得の世帯の場合

固定資産評価審査委員会

徳田平八郎氏

長浜町固定資産評価審査委員会委員・後藤忠雄氏（戒川）は、この三月三十一日で同委員の任期が満了のため、町長は後任委員に戒川一三一区の徳田平八郎さん（五



六）写真を
選任、議会の同意を求めた結果、万場一致で同意され新しい委員

◎被保険者均等割額 被保険者一人について三千六百円軽減していたものを四千円軽減に。

◎世帯別平均割額 一世帯について六千円軽減していたものを六千四百円軽減に。

中小企業振興資金

振興資金とも150万円に

長浜町中小企業振興資金条例の一部が改正され、融資の限度額が現況の物価の諸条件からみて充分でないで次のように改められました。

それによると運転資金八十万円、設備資金百万円と定められています

が、これがそれぞれ百五十万円に改められました。

議員報酬、三役・教 育長給与を改正

昨年の四月にさかのぼって改正

に決まりました。

同委員は、固定資産課税台帳に登録されたことがらについて不服があり、異議の申し立てがあったものについて審査を行い決定するのが任務。任期三年。定数三人。

選管委員決まる

前任者の任期満了にともない、新しい選挙管理委員四人と、同補充員四人が決まりました。決まったかたがたは後記のとおりで任期は四年。五十五年度から五十八年

された一般町職員給与との不均衡を是正するため「長浜町議会議員等の報酬、費用弁償及び期末手当支給に関する条例」「長浜町長、助役、収入役給与条例」の一部をそれぞれ改正、ことし四月一日から報酬や給与月額を次の通り改めることになりました。

なお、この改正に当たっては、さる二月十四日に特別職報酬等審議会の答申に基づいた改正となっております。

（内は改正前の額）

【町議会議員報酬月額】
議長 十四万五千円（十四万円）
副議長 十二万四千円（十二万円）
議員 十一万四千円（十一万円）

【町三役】
町長 四十五万六千円（四十四万円）
助役 三十七万三千円（三十六万円）
収入役 三十四万七千円（三十三万五千円）

また、同じ理由により「長浜町度間の選挙管理の事務にあつていただきます」

新しく決まった選挙管理委員

（敬称略）

森 議（五十六歳・白滝）
兵頭 信男（五十八歳・長浜）
藤岡喜代夫（五十九歳・下須成）
平井 源一（五十九歳・出海）

【補充員】 西岡勝（須沢）、三好敏哉（長浜）、宇都宮吉幸（豊茂）、山根養一（今坊）

なお、さる四月十一日、初委員会が開かれた結果、委員長には森議氏が選出されました。

教育長給与条例」の一部も改正され、教育長の給与月額が次の通り改められました。

【教育長】 三十二万三千円（三十一万二千元）

特別職、教委、農委の報酬額も改正

常勤特別職や他町村同職との均衡などを保つため、長浜町特別職員、長浜町教育委員会委員、長浜町農業委員会委員の「報酬及び費用弁償条例」の一部をそれぞれ改正、ことし四月一日から報酬および費用弁償額を次の通り改めることになりました。（内は改正前の額）

【監査委員報酬年額】
議員から選任された委員 十四万円（十三万五千円）
知識経験委員 十七万円（十六万五千円）

【選挙管理委員会委員報酬年額】
委員長 三万四千円（三万一千円）
委員 二万九千円（二万六千円）

【固定資産評価審査委員会委員】
勤務一日につき七千円以内（六千四百円以内）

【教育委員会委員報酬年額】
委員長 十八万円（十七万五千円）
委員 十六万円（十五万五千円）

【農業委員会委員報酬年額】
会長 十四万円（十三万五千円）
会長代理 十二万九千円（十二万四千円）
委員 十一万八千円（十一万三千円）

五十四年度の一般会計予算に今回六千四百八万六千円を補正、当予算会計の総額は三十億二千五百八十九万六千円となりました。

タイプ印刷機の購入費など

54年度一般会計補正

補正した予算のおもな使いみちは次のとおり。

総務費 四月からタイプ印刷を委託させるため、印刷機の購入と初心者タイプ

の養成費一か月分。青島航路事業の欠損金に対し、国、県の基準欠損金より低額となったため四百三十五万円。

衛生費 豊茂診療所の改築費に五百万円。直診会計赤字解消のために二百万円。豊茂診療所の仙波医師の死亡による減額約三百万円。
農林水産業費 うんしゅうミカン園転作事業補助金二千四百八十四万二千元。
土木費 出海漁港海岸保全事業に百五十万円。過疎債による町道二線の追加工事に一千万円。
災害復旧費 小山オガタ二農道分の災害復旧工事に一千二百九十五万七千円。
商工費 観光施設整備事業の工事入札減による減額三十三万円。

民生費 国民年金印紙購入基金積立金に二百万円。同和協会設立にともなう事業制負担金に九十三

議会・一般質問

4月1日付けで

54人を異動

総務課長に上田



水産課長 多野 波産



事務局長 高橋 高局

長浜町職員の人事異動を四月一日付けで行いました。今回の異動者は総数で五十四人。内訳は課長級十人、課長補佐級五人、係長および書記および書記補級十七人。保育所は、所長級三人、主任保母級九人、保母級九人。このうち課長級の二人、課長補佐級の一人、係長および事務専門員級の三人が昇格異動しています。

【課長級】総務課長・上田邦彦

（建設課長）▽ 税務課長・小川平（衛生課長）▽ 住民課長・石丸英雄（教育委員会教育課長）▽ 老人ホーム白山園長・友沢敏（総務課主幹）▽ 衛生課長・真鍋典秋（水道課長）● 農林水産課長・波多野進（農林水産課長補佐）▽ 建設課長・酒井義禹（住民課長）▽ 水道課長・久保弘（農林水産課長）▽ 教育委員会教育課長・池上昭夫（税務課長）● 議会事務局長・高橋亮（総務課長補佐）

【課長補佐級】● 総務課長補佐兼庶務消防係長・山下国広（総務課広報有線係長）▽ 農林水産課長補佐兼林業水産係長・大野智（住民課老人ホーム白山園長）▽ 振興課長補佐兼企画係長・藤沢豊彦（建設課長補佐兼管理係長）▽ 建設課長補佐兼管理係長・仲田源一（振興課長補佐兼企画係長）▽ 建設課長補佐兼建築係長兼都市計画係長・丸山寿一（建設課長補佐兼建築係長）

二宮町長は、今回の異動について「少数精鋭、能力第一主義をポイントに、また、職員間の和と連帯による行政効果が更に期待できる職員構成に重点を置いた」と述べています。

新しく三人を採用し、昭和五十五年度のスタートを切りました。四月一日付けで異動した職員は次の通り。(一)内は旧任。●は昇格。

【課長級】総務課長・上田邦彦

【書記および書記補級】総務課

一般質問

教育訓練は県と協議し実施

伊方防災計画

小川議員：伊方原子力発電所に関する防災計画について、昨年七月の定例会で原発に関する教育訓練は、幅広い住民参加のもとに取り組んでいくということであったがその心構えに変わりはないか。

また、防災計画、安全協定というものをいっごうどんな方法で議会にはかり、このことについて一般住民との対話をもつ考えがあるか。

五十五年町議会第一回定例会では小川儀三郎氏、津田龍雄氏、塚本弘基氏、中川喜代志氏、和田永吉氏が質問を行いました。おもなものの内容は次の通り。

県に要望し最大の努力を

海水浴場

小川議員：沖浦の海水浴場の砂が漁港の中へ流れ込み、双方を駄目にしており、また港の出入口が浅く危険な場所が広くなり全々使

今年度から公共施設について実施

合成洗剤使用規制

小川議員：脇川の汚染を防ぐために、合成洗剤の使用を規制して粉石けんの普及を前向きに取り組んでいただきたい。

二宮町長：県においても、瀬戸内海の不栄養化防止対策のひとつとして、無リンの洗剤に切り替えるということを決定しており、町としても今年度から公共施設について実施していく。

識者による会合を開いて検討

健康運動

小川議員：健康運動に対して造詣の深い熱心な方を集めて意見を聞いて欲しい。

二宮町長：お説のように、識者による会合を開いて具体的に検討してゆきたい。

同和行政について協力を

県同和協会加盟

小川議員：県同和協会加盟に関する問題で分担金をだしているが、県から言ってきたから協力するというような姿勢ではいけないのではないか。

貴重なボランティア活動に援助したい

未開発国住民の協力援助

小川議員：未開発地域でボランティア活動を続けておられる岩村昇博士を支援することにより、立派な心を育てる教育にもなるので資金的な援助をお願いしたい。

二宮町長：ボランティア活動としてたいへん意義のあるものであり、個人的にはできるだけのご援助を申し上げたい。町としては今後検討してゆきたい。

町職員人事異動

松岡陽規(教育委員会教育課)▽
総務課・大本昭裕(振興課)▽
務課・藤本修二(建設課)▽
課・大國尚子(会計室)▽
今坊隣保館兼喜多灘連絡所・吉田直人(税務課)▽
美(振興課)▽
本伊代子(水道課)▽
本治子(住民課)▽
稔(住民課)▽
生課)▽
協議会)▽
井一(教育委員会大和公民館兼相生連絡所)▽
友沢あつ子(総務課)▽
会大和公民館兼相生連絡所・中田主助(建設課)

【新採用】総務課・菊地博幸▽
衛生課・久保嘉範▽
谷上真悟



【所長級】

長浜・西宮幸子(沖浦)▽
山本美智子(長浜)▽
美澄(白滝)

【主任保母級】

榎生・田村恒子(大和)▽
藤瀨美枝子(喜多灘)▽
萩森理恵子(櫛生)

【保母級】

長浜・石川令子(出海)▽
沢田幸子(長浜)▽
子(喜多灘)▽
(出海)▽
平野悦子(櫛生)

▽
山本直美(沖浦)▽
幸子(大和)▽
きさ寮)



退職

〃おせわになりました〃
今回の異動とは直接関係のない者もありますが、ここ最近において次の五人が退職しています。

森議(前総務課長・三月末日付け)▽
日田稲生(前議事事務局長・十二月末日付け)▽
清水早苗(教育課書記・十二月末日付け)▽
井智子(大和保育所保母・三月末日付け)▽
木村カツエ(体育館囃託・三月末日付け)

54年度

市町村交通災害共済

五十四年度長浜町の市町村交通災害共済の実績を三月末現在でまとめると、大人四千五百二十三人、子ども三百七十七人の合計五千九百九人(町内総人口の四四・八%)の方が加入されており、五十四年四月一日から五十五年三月末までに十七人の方が見舞金を受けられています。

利子補給について
では慎重に検討

ミカンの暴落対策

津田議員：①基盤整備を行った農家は大きな借金を背負っており、借り入れた制度資金の返還の全面凍結を国に働きかけると共に、町で借り入れた資金の利子の補給をしていただきたい。

②今年にはミカンが安かったため、農協で購入した生産資材等の支払いができず連帯利息をとられているので、町で援助できないか。
二宮町長：①強力に国へ陳情を続けているので近々決定がなされると思うが、利子補給についてはミカンだけでなく全ての制度資金に關係して行くので慎重に検討してゆきたい。

②国・県で推進されようとしている地域主義、コミュニティづくりに対処して、どのような計画を立案推進しようとしているのか。

二宮町長：①現在町道の一、二級道の見直し案が整い、採択可能な道路を中心に新しく開設した道路を編入していく過程であり、管理年限、規模構造、選定基準等問題があるので、今しばらくお待ちいただきたい。

②国の第三次全国総合開発計画および愛媛県長期総合計画の諸計画を背景に、長浜町振興計画基本構想を策定し、具体的には現在立案中である。

上流の市町村に
呼びかけて
～ 肱川汚染防止対策 ～

中川議員：①長浜町は、肱川の最下流にあつて、この肱川の伏流水を上水道として使用しているため、大洲市をはじめ関係町村に対して、下水処理のための終末処理場、集落単位のコミュニティプラントの早期実現と、清流園のし尿処理施設を整備するよう強く要請していただきたい。

②長浜町と株式会社愛媛クミアイ食肉センターが結んだ公害防止協定に基づく公害防止に関する疑問点の中で、公害監視体制のための連続自動測定器の導入と原排水処理施設内の砂ろ過施設の増設を強く要請していただきたい。
二宮町長：①五十五年度から肱川浄化対策推進協議会が発足する予定であり、肱川上流の市町村に

対して早期に実現されるよう呼びかけてゆきたい。し尿処理問題についても組合に強く申し入れており、現在検討中である。

②町の方からも強く要請しており、食肉センターの方でも真剣に受けとめて取り組んでくれている。

品種更新で適地
適産化へ
～ ミカン経営の将来の展望 ～
和田議員：農家の高齢化、後継者不足等により生産意欲が減退し、厳しいミカン産業の中で産地間競争に勝ち残るためには、農家の意向調査を実施し、健全な産地づくりをめざして将来の展望に立つての対策が必要ではないか。
二宮町長：ミカンは生産過剰であり、ミカンだけではどうにもならないので、年内出荷ができるような品種更新等により優良品種に集約し、適地適産にのっとりたいわゆる近代的な作物と時代にマッチした品種更新を強力に進め、これらの事業については助成してゆきたい。

合成洗剤の使用中止
瀬戸内海の富栄養化防止対策の一環として、現在国において総合的なリン削減指導方針を策定中であり、リン削減の一つとして国、県においてもリンを含む合成洗剤の使用中止、あるいは自粛を行っています。皆さんの家庭におかれなくても、リンを含む合成洗剤を使わないようご協力下さい。

掘木議員：①作業林道、農業の町道編入について重点路線の選択の作業を進めておるが、その時期はいつごろか。

長浜町職員録

本 庁

憲博 童
重孝 孝
宮田 居
二門 土
長役 役
町助 収入役

総務課

課長 上田 邦彦
課長補佐 山下 国広

(庶務消防係)

(兼)係長 山下 国広
技術専門員 窪 憲一
技師 西本 幸雄
技手 成田 信重
書記 都築 住江

書記補 戎 末子
婦人交通指導員 稲垣美恵子
嘱託 神内ユリ子

(企画財政係)

係長 山本 勝延
書記 松岡 陽規

(管財係)

係長 叶本 正
書記 城戸 広美

(文書係)

係長 平見 朝子
主事 横道 里見
臨時 菊地 博幸

(広報有線係)

係長 山下 一仁
技術専門員 大野 泰俊
技手 都築 小富
書記 久保美恵子
技手補 大本 昭裕

書記補 三浦 直重
技手補 菊地 直美

税務課

課長 小川 平
課長補佐 石住 武俊

(住民税係)

(兼)係長 石住 武俊
書記 小西 貫一

(固定資産税係)

書記補 藤本 修二
係長 上川 慶信
書記 新田 道夫

(収納係)

係長 政所 友邦
書記 橋本 初子
浪本 忠則

住民課

課長 石丸 英雄
課長補佐 木下 保利
(福祉施設係) 木下 保利
(兼)係長 木下 保利
米養士 大橋 京子
書記補 清水 康則

(福祉係)

係長 山根カヨ子
書記 久保田健市
井上 裕重

(年金係)

係長 西田 孝
書記 大田 尚子

(住民係)

係長 中野 貴夫
書記 城戸 茂利
大本みつ子
宇根やす子
吉田 明美

書記補 矢野 克

衛生課

課長 真鍋 典秋
課長補佐 渡辺 敬

(衛生係)

(兼)係長 渡辺 敬

看護婦

看護婦 石本紀美子
保健婦 一宮 和子
原間 雅子

(国保係)

臨時 久保 嘉範
係長 村上 隆志
書記 浦上恵美子

(環境係)

(兼)係長 矢野 克
久保 博昌

農林水産課

課長 波多野 進
課長補佐 大野 智
中田 晋
(林業・水産係) 大野 智
大野 智
松本伊代子
三秋 敦司

(農業係)

係長 上満 治雄
書記 宇都宮芳文

(農林施設係)

係長 山根 勇一
書記 二宮 正昭

(国土調査係)

係長 上田富喜男
書記 植杉 岳志
一宮 義道
谷上 真悟

(農地係)

係長 笹本 栄一
書記 日野 敏子

振興課

課長 泉 芳信
課長補佐 宮田 猛義
藤沢 豊彦

(企画係)

書記 藤沢 豊彦
田中 宏幸
西岡 敏博

(商工係)

係長 下田 健三
書記 亀田 稔
松本 治子

(調整係)

(兼)係長 宮田 猛義
洲尾 計邦

建設課

課長 酒井 義禹
課長補佐 丸山 寿一
大元 宗一
仲田 源一

(管理係)

(兼)係長 仲田 源一
書記 宮下紀久重
清水 俊三

(建築・都市計画係)

(兼)係長 丸山 寿一
係長 佐々木晋一
中野 健蔵
森川 純行
菊地 洋一

(工務係)

技師 森内雄二郎
技手 岡田 好光
楠野 茂利
重松 直博
藤岡 章男

會計室

室長 上川 万敏

水道課

課長 久保 弘
課長補佐 久保 博道

(庶務・工業用水道係)

(兼)係長 久保 博道
技術専門員 藤本 富雄
書記補 一藤 豊
技手補 窪 清一

(工務係)

技師 草川 勝義
技手 坂東 敏幸
矢野上和雄

教育委員会

教育委員長 二宮 義徳
課長 池上 昭夫
課長補佐 山崎 一義
山本 辰雄

(総務係)

係長 和田 正義

(学校教育係)

(兼)係長 山本 辰雄
書記 友沢あつ子

(社会教育係)

(兼)係長 山崎 一義
主事 菊地 邦求
久井 一
高左 潔
藤枝 廣美

議会事務局

局長 高橋 亮
書記 三秋レイ子

出 先

連絡所

(喜多灘連絡所)
 (兼)主任 吉田 直人
 (兼)主任 山本多喜男
 (兼)主任 垣見 正志

保育所

(長浜保育所)
 所長 西宮 幸子
 主任保母 池田スミ子
 保母 石川 令子
 吹春みね子
 梶本 幸子
 佐竹千恵子
 宮本 邦子
 浪本 満子

(白滝保育所)
 所長 山本美智子
 主任保母 永尾 弘子
 保母 沢田 幸子
 大野ギン子
 上満 裕子
 白石 玉子
 児玉クミ子

(沖浦保育所)
 所長 下田 美澄
 主任保母 西田 清子
 保母 矢間榮津美
 菊地さと子
 吉岡とよ子
 平野 悦子
 鈴木 朝子

(榊生保育所)
 所長 大藤 恭子

相生連絡所

(兼)主任 中田 圭助
 (兼)主任 菊地 英夫
 (兼)主任 滝内 仁

老人ホーム

園長 友沢 敏
 主任保母 田村 恒子
 保母 宇都宮由美子
 鈴木佳代子
 田丸 富枝

(出海保育所)
 所長 玉井 徳美
 主任保母 大成 節子
 三好 五月
 児玉 智代
 菊地 郁子
 笹本 直江

(大和保育所)
 所長 谷川 俊子
 主任保母 藤瀨美枝子
 保母 木之本律子
 山本 直美
 岡崎美智子

(喜多灘保育所)
 所長 山本コトエ
 主任保母 萩森理恵子
 保母 矢野 幸子
 泉 友江

(豊茂保育所)
 所長 西岡 房子
 主任保母 宮岡 民子
 保母 矢野 越子
 西山みち子
 横山 典子
 都田 悦子

調理員 都田 悦子

園長補佐兼生活指導員

書記 隱岐 龍法
 看護婦 熊本 真弓
 主任寮母 平田由美子
 清水 藤子
 富岡トシコ
 一宮トモエ
 清水 愛子
 松本 和重

隣保館

(今坊隣保館)
 主事 吉田 直人
 (榊生隣保館)
 主事 山本多喜男

診療所

(青島診療所)
 看護婦 赤丸 恵子
 (榊生診療所)
 看護婦 高田 美香
 (出海診療所)
 看護婦 宝生 房子
 (豊茂診療所)
 看護婦 坂田 嘉代
 (白滝診療所)
 看護婦 平田美佐子

技術員兼主任 大野 勇
 嘱託 松石 之道
 矢野 覚男

焼却場

嘱託 矢野 覚男

港務所

所長 大元 宗一
 書記補 小林 吉安

学校

(長浜小学校)
 用務員 寺坂 満子
 (長浜中学校)
 用務員 坂井 英雄
 (長浜中学校寄宿舎)
 調理員 中谷トリエ
 嘱託 松本イツミ
 泉田 松子

公民館

(今坊公民館)
 (兼)主事 吉田 直人
 (榊生公民館)
 (兼)主事 山本多喜男
 (出海公民館)
 主事 垣見 正志
 (大和公民館)
 主事 中田 圭助
 (豊茂公民館)
 主事 菊地 英夫
 (白滝公民館)
 主事 滝内 仁

嘱託 久保カツミ

水族館

主任 平田 友幸
 嘱託 三石むめ志

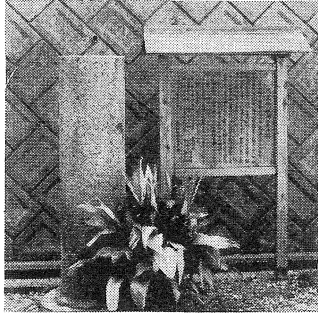
まの山

この手水鉢は、住吉神社の拝殿に向かって右側の境内にある。全長約一五〇センチ、今から約五七〇年前、足利時代の応永年間に中山(伊予郡中山)の豪族栗田正泉らが、中山産の黒雲母安山岩を材料として作り、中山の永木三鳥堂へ献納した石の鳥居の石柱の一部であると伝えられている。当時は、石の鳥居は日本全国的にみても数少ないものであった。

住吉神社の手水鉢

その後今から約三百年前、徳川時代に、時の大洲二代藩主加藤泰興がこの鳥居を見て、その石材の立派さに驚き、石柱の一本を取り江戸に持参しようとしたが、何かの都合で江戸持参をとりやめて手水鉢に加工し、海上守護神として泰興の信仰厚かつた長浜の住吉神社に奉納したものと伝えられている。

このように由緒深い貴重な建造物であるので、昭和四十八年二月七日に、長浜町有形文化財として指定された。大切に保存したい。(長浜町文化財保護審議会委員・久保七郎)





「江戸っ子は五月(さつき)の鯉で口ばかり」古川柳ではないが今や一億総江戸っ子化したかの如く言論の自由の花ざかり。沈黙は金なりを信条とする人は稀少価値に属するの時世とは相なった。世の中が益々世智がなくなつたとある人が嘆く。それは当たり前だ、みんなが勉強して利口になり、黙って従おうという馬鹿がいなくなったからだ、と他の一人が答えた▲正にその通り、正しくとも従わないことが反骨精神のある現代的英雄だと自惚れる単細胞的な人種が日本には異常発生し過ぎたのではないか。馬鹿がその假学歴に乗って利口になって横行する世の中はそれこそまことに世智辛くて住みにくいだろう▲不透明、不確実の時代というのもそのことの表現に他ならない。是非善悪の区別のつかぬ醜い煩惱九出しの言論や行動がそうさせていることを見抜く眼力をもたねばならぬ▲不正入学、汚職、不正選挙、誘拐、殺人、いづれも平気で行われているところに重大な危険性がある。義理人情を重んぜず、罪に対する厳しい恐れをなくし、個人の利益と本能のみを尊重するような言論や行動の氾濫が生み出した世相だと思ふが如何▲腹に一物もない鯉のぼりのような真の江戸っ子の言論であればこうも不透明な世の中にはならなかったであろう。

毎月一日は
省エネルギーの日

- 長浜七区の白石亀徳さん(五〇)：ミキサー一基を出海保育所へ。
- 沖浦保育所の会：儀式用お盆一個を沖浦保育所へ。
- 沖浦の鎌田治郎吉さん(五八)：整理箱一個を沖浦保育所へ。
- 沖浦保育所五十四年度卒園児父兄一同：掛時計一個を沖浦保育所へ。
- 十八型カラーテレビ一台を櫛生保育所へ。
- 出海小学校五十四年度卒業生一同：電池柱時計二個を出海小学校へ。

ありがとうございました

寄付

○櫛生保育所五十四年度卒園児父兄および父母の会一同

結婚

3月長浜町役場届出分(敬称略)

3月のトッパは 泉田一幸・千富さんのカップル

住所氏名 婚姻届時年齢

下須戒 上老松	泉田 氏名	婚姻届時年齢
仲田 千富	一幸 (二二)	(二二)

母の日は五月の第二日曜日、今年五月十一日にあたります。戦前は、三月六日の皇后誕生日(地久節といっていた)を母の日としていたようです。母の日は、今世紀のはじめ、アメリカである女性が、母の追憶のために教会でカーネーションを配ったのが起りといわれています。その後一九一四年(大正三年)に、アメリカの議会が五月の第二日曜日を母の日と定め、母の恩に感謝の気持ちを表すことになりました。日本でもアメリカと同じように、五月の第二日曜日を母の日にして、五月の第二日曜日を母の日として行なうようになったのは戦後のことです。母の日のプレゼントは浴衣、バッグ、和服小物などさまざまか。

お誕生おめでとう!!

3月届出分(敬称略)

住所氏名 続柄 児名

沖浦 松浦	保護者氏名	続柄	児名
岡田 和生	誠二	二男	史明
沖浦 松浦	兒玉 康	長男	辰仁
下須戒 岡田	和生	二女	千春

「母の日」

歳時記

口うるさい教育ママに感謝の気持ちを持つようになるのは、自分が親になつてからという事なのではないか。贈り物とは何か、感謝のことばだけは贈りたいものですね。

タバコは町内で

町内でタバコを買って頂いたおかげで、五十四年度は三千二百五十六万円のタバコ消費税が町の台所に入りました。これからも、タバコは町内で買ってくださいね。

おくやみ

3月届出分(敬称略)

住所氏名 死亡時年齢

住所 後藤兵太郎	死亡時年齢
出海 三好 福衛	(六九)
白濱 和治郎	(七六)
長濱 城ノ戸シヅ	(七三)
白濱 菊地スミエ	(九二)
沖浦 菊地 艶子	(七四)
穂積 水田キクノ	(五八)
出海 大野サトリ	(八三)
大越 福村 禪教	(九六)
白濱 泉田フキ子	(六五)
下須戒 藤岡ナカエ	(四九)
今坊 岸本 益夫	(七七)
長浜 岸本 益夫	(四六)

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	4月1日現在	前月との比較
人口	13,009人 (男 6,223人 女 6,786人)	93人減 (37人減 56人減)
世帯数	3,890世帯	9世帯減



編集後記

さて、本号は新スタッフにより昭和五十五年度の行政のあり方を紹介する第一回町議会、当初予算、人事異動を中心に編集してみました。できるだけわかり易くお伝えできればと考慮しましたが、編集についてはズブの素人で、なかなか思うようにいきませんでした。大切なことですのでせめて概要だけでもおわかりいただければ幸いです。

次号からは新しく企画を練り、皆さんにも紙面へどんどん登壇していただくようにしてゆきたいと思っております。街かどでおめにかかった時には、素直な意見をアドバイスしていただき、明るい紙面作りができるよう努力してゆきたいと考えておりますので宜しくお願いいたします。